

令和7年度 学校教育アンケート結果（後期）

達成率・・・(A+B)/(A+B+C+D)×100

±5%の増減

		A	B	C	D	?	R7後期 達成率	比較	R7前期 達成率	判定	
教育課程・学習活動	1	生徒	私は、大洲北中学校が好きである。	人 137 % 42.8	127 39.7	24 7.5	17 5.3	15 4.7	86.6	89.8	A
		保護者	学校は、「好きです北中！」と心から言える生徒の育成に努めている。	人 53 % 18.0	171 58.0	19 6.4	0 0.0	52 17.6	92.2	92.0	A
		教職員	学校は、「好きです北中！」と心から言える生徒の育成に努めている。	人 12 % 36.4	20 60.6	0 0.0	1 3.0	0 0.0	97	96.8	A
	2	生徒	私は、楽しく充実した学校生活を送っている。	人 160 % 50.0	135 42.2	16 5.0	5 1.6	4 1.3	93.4	96.2	A
		保護者	わが子の学校生活は楽しく充実している。	人 95 % 32.2	173 58.6	14 4.7	7 2.4	6 2.0	92.7	91.7	A
		教職員	生徒たちの学校生活は楽しく充実している。	人 10 % 30.3	21 63.6	2 6.1	0 0.0	0 0.0	93.9	96.9	A
	3	生徒	私は、授業に集中し、進んで学習に取り組んでいる。	人 141 % 44.1	157 49.1	17 5.3	2 0.6	3 0.9	94.0	92.9	A
		保護者	わが子は、進んで家庭学習に取り組んでいる。	人 27 % 9.2	120 40.7	103 34.9	44 14.9	1 0.3	50.0	50.8	C
		教職員	生徒は、自分から進んで学習に取り組んでいる。	人 1 % 3.0	22 66.7	8 24.2	0 0.0	2 6.1	74.2	72.4	B
	4	生徒	先生は、教え方を工夫し、分かりやすい授業に努めている。	人 151 % 47.2	146 45.6	7 2.2	3 0.9	13 4.1	96.7	94.2	A
		保護者	先生は、分かりやすい授業に努めている。	人 54 % 18.3	158 53.6	22 7.5	1 0.3	60 20.3	90.2	92.9	A
		教職員	私は、教え方を工夫し、分かりやすい授業を展開している。	人 4 % 12.1	21 63.6	1 3.0	1 3.0	6 18.2	92.6	100.0	A
分析・今後の指向	<p>・2学期は、体育大会や文化祭といった大きな学校行事がありました。今年度、体育大会においては、2年生のクラス数が他の学年と異なるため、ブロック分けをどうするのがよいかを生徒の話し合いによって決定しました。ブロック内のクラス数に相違はあるものの、クラスを解体せず得点（配点）を工夫することでブロックはもとよりクラスの団結を高めました。そうすることで、3年生のリーダーシップや2年生のクラスでの団結力が上がり、文化祭の合唱コンクールの盛り上がりにつながり、「楽しく充実した学校生活を送っている」という生徒の結果や「好きです北中！」と心から言える生徒の育成に努めている。」という保護者の結果に表れたのではないかと思います。しかしながら、生徒の中には「私は、大洲北中学校が好きである」と思えない生徒が一定数いることから、学校行事だけではなく、人間関係を円滑に進めるための環境づくりや一人一人の存在が認められる関係づくりが必要であると考えます。</p> <p>・学習面では、前期に引き続き「授業に集中し、進んで学習に取り組んでいる」という認識を持った生徒が多いことが分かります。授業中の様子は、どの学年も落ち着いた雰囲気の中で学習に取り組んでおり、積極的にICTを活用した授業展開にも取り組んでいます。学級委員会や学芸委員会で行っている授業態度の調査では、授業の取組の様子を数値化して校内放送で報告したり、自主学習クラブを開催して表彰したりするなど、学習意欲の向上を図っています。しかし、「進んで家庭学習に取り組んでいるか」という項目に関しては、保護者の回答は50%という達成率となっており、前期からの向上が見られていません。授業だけにはとどまらず、家庭学習につなげられるよう、自ら学び、主体的に行動する生徒の育成を目指し、今後も授業改善に努めてまいります。ご家庭でも、2学期末にPTA理事会や児童生徒をまもり育てる協議会を通じて提案がありましたように、スマートフォンやゲーム機器を使用する時間等について約束事を設け、学習時間を確保していただきますようご協力願います。</p>										
5		私は、気持ちのよい挨拶をしている。	人 97 % 30.3	141 44.1	57 17.8	16 5.0	9 2.8	76.5	80.2	B	
	保護者	生徒は、気持ちのよい挨拶ができています。	人 27 % 9.2	177 60.0	46 15.6	15 5.1	30 10.2	77.0	79.7	B	
	教職員	生徒は、気持ちのよい挨拶ができています。	人 3 % 9.1	18 54.5	12 36.4	0 0.0	0 0.0	63.6	59.4	B	
6	生徒	先生には、悩みなどの相談がしやすい。	人 89 % 27.8	137 42.8	50 15.6	19 5.9	25 7.8	76.6	74.7	B	
	保護者	学校は、相談しやすい雰囲気である。	人 65 % 22.0	175 59.3	21 7.1	5 1.7	29 9.8	90.2	89.4	A	
	教職員	学校は、生徒や保護者の相談に適切に対応している。	人 11 % 33.3	20 60.6	1 3.0	0 0.0	1 3.0	96.9	100.0	A	
7	生徒	学校は、いじめや生徒間のトラブル等に適切に対応している。	人 114 % 35.6	123 38.4	21 6.6	9 2.8	53 16.6	88.8	91.2	A	
	保護者	学校は、いじめや生徒間のトラブル等に真剣に取り組んでいる。	人 70 % 23.7	158 53.6	19 6.4	2 0.7	46 15.6	91.6	92.3	A	
	教職員	学校は、いじめや生徒間のトラブル等に対し、十分取り組んでいる。	人 20 % 60.6	11 33.3	1 3.0	0 0.0	1 3.0	96.9	96.8	A	
8	生徒	先生や友達からよいところを認められている。	人 138 % 43.1	121 37.8	10 3.1	6 1.9	45 14.1	94.2	91.6	A	
	保護者	先生は、生徒のよいところを認めている。	人 87 % 29.5	150 50.8	15 5.1	2 0.7	41 13.9	93.3	94.6	A	
	教職員	私は、生徒のよいところを認める教育に努めている。	人 11 % 33.3	21 63.6	1 3.0	0 0.0	0 0.0	97.0	96.7	A	

分析・今後の指向	<p>・気持ちのよい挨拶については、生徒、保護者、教職員の達成率において80%を下回りました。生徒自身も気持ちのよい挨拶については課題があると感じているようです。3学期からは生徒会役員が2年生にバトンタッチされました。学校内はもちろんのこと、地域でも気持ちのよい挨拶ができるよう新生徒会役員を中心に自治的風土を高め、気持ちのよい挨拶ができることを北中の良さとして誇りが持てるようにしていければと考えております。</p> <p>・「先生には、悩みなどの相談がしやすい」と感じている生徒は、若干の向上が見られたものの、80%の達成率には届きませんでした。2学期は、テスト期間中に全教職員が関わり、教育相談を実施しました。学級担任との相談活動とは異なり、他の教職員と違った角度で話をする中で、新鮮な気持ちで相談活動を行うことができたようです。今後も学級担任以外の教職員が積極的に相談活動に関わることで、学級担任では気付かない良さに気付いたり、困りごとに耳を傾けたりすることで生徒との信頼関係を深め、学校全体で生徒一人一人に目を向けた見守りを行っていきます。</p> <p>・2学期は、1件いじめ事案がありました。人格形成途中の子供たちですので、学校生活において何らかの生徒間トラブルやいざござはあります。そして、それがいじめにつながる恐れがあるということも十分認識しております。「いじめはどこにでも起こりうるもの」という考えの下、本校では、「いじめ見逃し0」を全職員が共通認識しながら教育活動を行っております。今後も、毎日の日記や何気ない会話以外にも月末にアンケート調査を行うなど、アンテナを高くして早期発見・早期対応に努め、対応していきますので、ご家庭でも気になることがありましたら、学校までご相談いただきますようお願いいたします。</p> <p>また、2月には、SNSトラブル防止教室を生徒を対象に開催いたします。ご家庭でもこのことについての話を聞いていただき、スマートフォンやSNS利用のルールについて話し合いを持ち、安全・安心な利用についてご指導いただきますようご協力ください。</p>												
健康・安全	9	生徒	私は、部活動に真面目に取り組んでいる。	人	158	90	10	3	59	95.0		94.1	A
				%	49.4	28.1	3.1	0.9	18.4				
		保護者	学校は、部活動の充実にも努めている。	人	96	156	13	2	28	94.4		89.7	A
			%	32.5	52.9	4.4	0.7	9.5					
	教職員	生徒は、部活動に真面目に取り組む、充実した活動ができている。	人	10	16	2	0	5	92.9	↓	100.0	A	
			%	30.3	48.5	6.1	0.0	15.2					
	10	生徒	私は、学校の施設や設備などを正しく安全に使っている。	人	238	72	2	0	8	99.4		98.5	A
				%	74.4	22.5	0.6	0.0	2.5				
		保護者	学校は、生徒の安全確保や事故防止に配慮している。	人	79	174	5	1	36	97.7		94.2	A
			%	26.8	59.0	1.7	0.3	12.2					
	教職員	私は、教育の場にふさわしい環境を整えている。	人	8	24	0	0	1	100.0		100.0	A	
			%	24.2	72.7	0.0	0.0	3.0					
11	生徒	私は、交通ルールやマナーがよく守れている。	人	203	111	1	0	5	99.7		97.2	A	
			%	63.4	34.7	0.3	0.0	1.6					
	保護者	生徒は、交通ルールやマナーが守れている。	人	29	166	61	16	23	71.7		74.9	B	
		%	9.8	56.3	20.7	5.4	7.8						
教職員	生徒は、交通ルールやマナーが守れている。	人	1	19	12	0	0	62.5		62.5	B		
		%	3.1	59.4	37.5	0.0	0.0						
分析・今後の指向	<p>・部活動については、3年生から2年生に体制が移行していますが、これまで同様に多くの部で大会や作品づくり等において成果を上げています。運動部においては、各競技のみならず、駅伝大会にも部活動を超えて参加しております。女子は5年ぶりに県駅伝大会に出場し、男子は3年ぶりに市駅伝大会で優勝しました。文化部では、吹奏楽部がアンサンブルコンテスト南予予選で金賞を受賞し、県大会出場権を獲得しました。今後も、挨拶や返事についても模範となって学校生活や地域等で生かされるよう、心身の健全育成に努めてまいります。</p> <p>・昨年度から今年度に向け、大洲市産の木材を利用した生徒用机・椅子が全学年に配備されました。木材ならではの温かみや落ち着き、明るさなどが感じられ、教室環境はよりよくなっております。しかし、接合部の強度不足等による破損が複数見られるなど、ご心配をお掛けしております。直接生徒のけがにつながる事故は起きてはいたませんが、大洲市教育委員会に報告し、製作会社が修理・改善を行っています。今後も、事故の未然防止と早期発見・対応に努め、よりよい学習環境を整えてまいります。</p> <p>・交通ルールやマナーについて、生徒の自己評価は向上が見られましたが、保護者・教職員の達成率は、60～70%台で低くなっております。保護者や地域の方からは、「通学路以外の場所を通して通学している生徒がいる」や「ヘルメットをかぶっていない生徒がいる」「一時停止をしないで飛び出してくる生徒がいる」などのご意見をいただいております。事故が起こってからでは取り返しがつかないということを、集会活動や学級活動などで繰り返し指導を重ねてまいります。</p>												
12	生徒	私は、通信等をきちんと渡すなど、学校の様子を伝えている。	人	181	98	25	8	8	89.4		91.9	A	
			%	56.6	30.6	7.8	2.5	2.5					
	保護者	学校は、通信・メール・HP等で、学校や生徒の様子をよく伝えている。	人	133	159	2	0	1	99.3		98.8	A	
		%	45.1	53.9	0.7	0.0	0.3						
教職員	学校は、通信・メール・HP等で、学校の方針や生徒の様子を適切に伝えている。	人	17	16	0	0	0	100		100	A		
		%	51.5	48.5	0.0	0.0	0.0						
分析・今後の指向	<p>・生徒、保護者、教職員の達成率は、前年同期高い状況にあり、ミライムレーターを活用した保護者への連絡が軌道に乗ってきた表れではないかと思っております。ミライムレーターは、これまで利用していたマチコミメールと異なり、緊急時はもちろん通常の連絡・お知らせ手段として活用させていただいております。電子（ペーパーレス）化を行うと同時に保護者の皆様に迅速かつ確実にお知らせするための手段となりますので、ミライムレーターの新着情報を気にしていただき、アプリを開いて内容を確認していただきますようご協力願います。今後もホームページの更新・伝言板の効果的な活用やタイムリーな学校だより、学級通信を発行することで、教育活動の様子を家庭や地域に発信し、学校・生徒の様子をお伝えしていきます。</p>												